

# 医師少数スポットの設定について

# 医師少数スポットについて

## 医師不足地域について

医師修学資金を貸与した医師のうちキャリア形成プログラムの適用者は、卒後9年間のうち臨床研修修了後7年間の間に医師不足地域（1～2年）の勤務が求められる。

## ○現行の医師不足地域

人口10万人対医師数や地理的条件・過疎地域の指定等に基づき設定しており、地域枠B推薦地域と医師修学資金における医師不足地域の整合を図っている。

## 改正医療法（H30.7）に伴う運用改正

### ○地域枠等医師が派遣対象となる区域

これまで、県が医師不足地域を定めていたが、キャリア形成プログラム運用指針（R1.7.5）により、今後は、三重県医師確保計画に定める医師少数区域及び医師少数スポットとなった。

#### ●医師少数区域

国の医師偏在指標に基づき、二次医療圏単位で設定

⇒ **東紀州医療圏**（暫定）

#### ●医師少数スポット

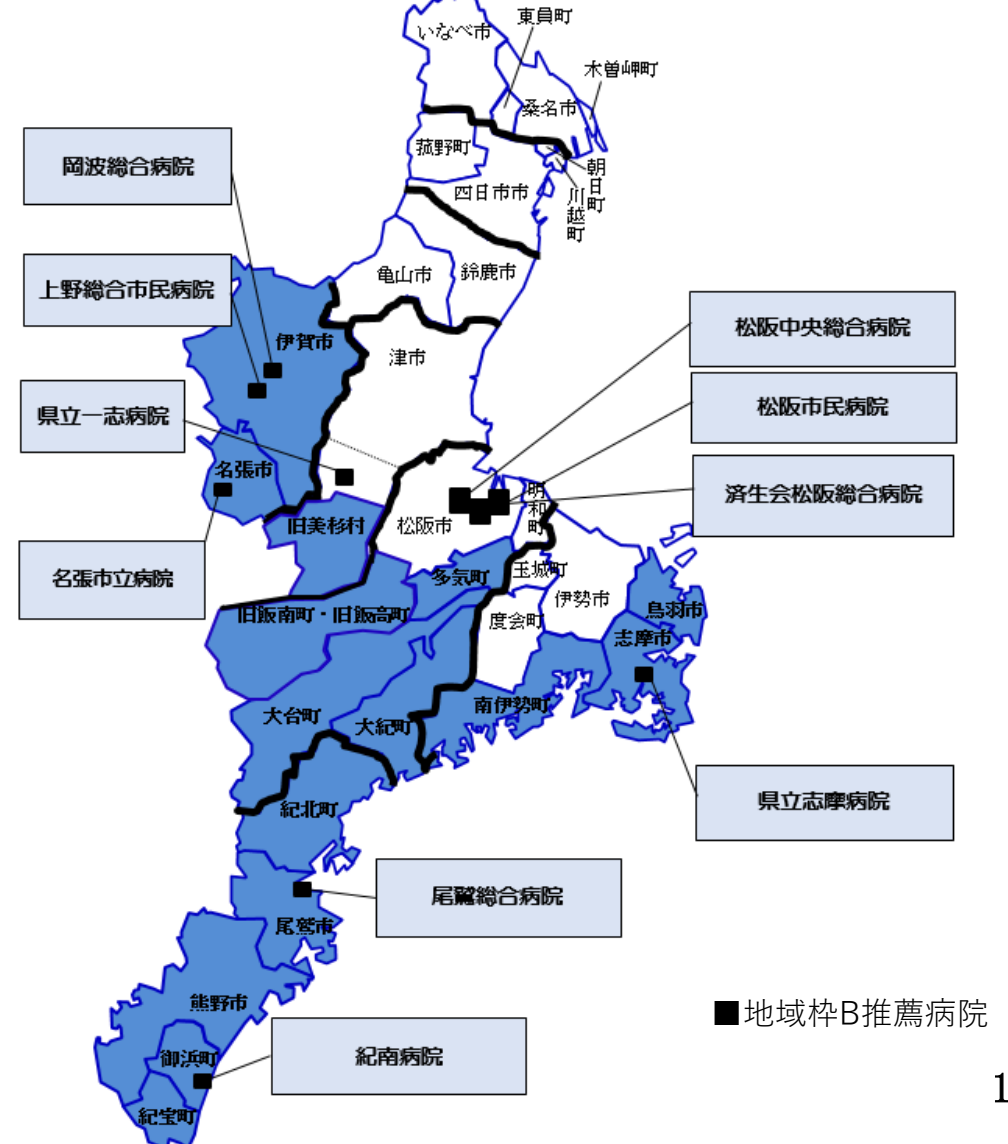
二次医療圏よりも小さい単位で、医師偏在対策が必要な地域を

設定 ⇒ **地域医療対策協議会において対象地域を協議**

## （参考）現行の医師不足地域

医師不足地域（地域枠B募集対象市町）

鳥羽市、志摩市、南伊勢町、大紀町、大台町、多気町、紀北町、尾鷲市、熊野市、御浜町、紀宝町、伊賀市、名張市、津市（旧美杉村に限る）、松阪市（旧飯南町、旧飯高町に限る）



# 医師少数スポットの設定について（1）

第1回 三重県地域医療対策協議会（令和元年9月11日）  
「三重県医師確保計画」の策定について（抜粋・一部改変）

## 医師少数スポットの設定

- 二次医療圏よりも小さい単位の地域での医師偏在対策に取り組む必要があるため、県は医師の不足する地域を医師少数スポットとして設定し、医師少数区域と同様に医師偏在対策に取り組む。
- 医師少数スポットとして設置する地域は、医師派遣調整の対象地域となることから、現行の医師修学資金貸与制度や三重大学医学部における地域枠B推薦地域と整合を図りつつ検討を行う。
- 医師少数スポットの設定の考え方（案）は次のとおり。

### ① 三重大学医学部地域枠B推薦地域

- 三重大学医学部の地域枠B推薦入試における推薦地域は、三重県医師修学資金貸与制度において医師不足地域に指定している。

地域枠B推薦地域（医師修学資金貸与制度における医師不足地域）

旧美杉村、名張市、伊賀市、

旧飯南町、旧飯高町、大紀町、大台町、多気町、

鳥羽市、志摩市、南伊勢町

尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町

※なお、上記のうち東紀州地域は、医師少数区域となる見込みである。

対象市町：尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町

# 医師少数スポットの設定について（1）

第1回 三重県地域医療対策協議会（令和元年9月11日）  
「三重県医師確保計画」の策定について（抜粋・一部改変）

## ① 三重大学医学部地域枠B推薦地域

○東紀州以外の地域枠B推薦地域における人口10万人対医師数は、いずれも東紀州（158.0人）を下回っている。

①東紀州（尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町）・・・・・・・・・・ 158.0人（医師少数区域【暫定】）

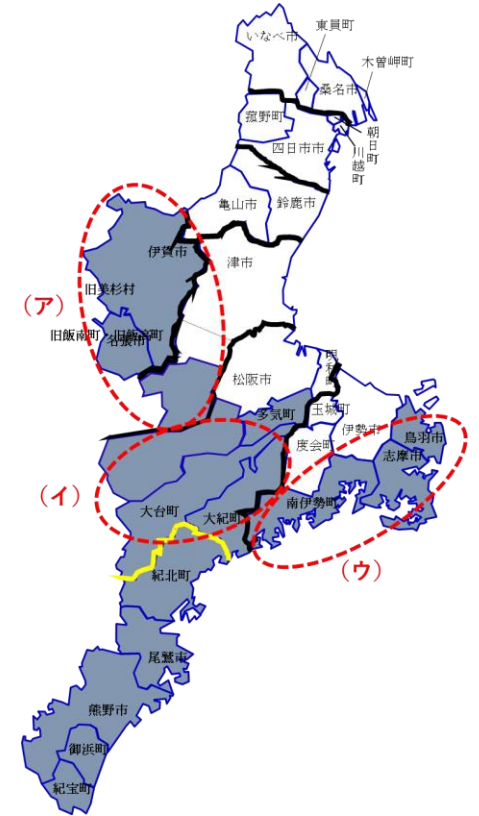
②東紀州以外

（ア）旧美杉村、名張市、伊賀市、・・・・・・・・・・ 147.2人

（イ）旧飯南町、旧飯高町、大紀町、大台町、多気町・・・・・・・・・・ 77.4人

（ウ）鳥羽市、志摩市、南伊勢町・・・・・・・・・・ 125.8人

（平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査、住民基本台帳、三重県調べによる推計）



## 論 点 1

○医師確保計画における医師少数区域や医師少数スポットは、地域枠B推薦地域や医師修学資金の派遣対象地域と整合を図ることが必要である。

現行の地域枠B推薦地域のうち、東紀州以外の人口10万人対医師数は、東紀州域の水準（158.0）を下回っている。

このことから、東紀州以外の地域枠B推薦地域を医師少数スポットの対象地域としてはどうか。

医師少数スポット（案）

旧美杉村、名張市、伊賀市、

旧飯南町、旧飯高町、大紀町、大台町、多気町、

鳥羽市、志摩市、南伊勢町

# 医師少数スポットの設定について（2）

## ① 三重大学医学部地域枠B推薦地域

### 推薦地域と推薦病院の所在地が異なる地域について

○次の推薦地域は、推薦病院が推薦地域内に所在していない。

地域枠B推薦地域	推薦病院	病院所在地
津市（旧美杉村）	県立一志病院	津市白山町
松阪市（旧飯南町・旧飯高町） 大紀町、大台町、多気町	松阪市民病院 松阪中央総合病院 済生会松阪総合病院	松阪市殿町 松阪市川井町 松阪市朝日町

（参考）津市白山町・美杉町の状況

地域名	人口10万人対医師数
津市白山町	88.8
津市（旧美杉村）	65.2
白山・美杉地区 計	81.9

平成29年度 三重県調べによる推計

- 地域枠B医師が推薦地域で勤務する場合、推薦病院から診療応援により診療にあたることが想定される。
- 松阪市の人口10万人対医師数は267.1人であり、県平均（217.0人）を上回り、県内でも高い水準にある。
- 県立一志病院の所在する津市白山町の人口10万人対医師数は、88.8人（県調べ）であり、旧美杉村と同様に東紀州の水準（158.0）を下回っている。

## 論 点 2

○医師少数スポットの設定について

推薦地域と推薦病院の所在地が異なる松阪市においては、現在の推薦地域（旧飯南町・旧飯高町）を医師少数スポットとして設定し、津市については、白山町及旧美杉村を医師少数スポットに設定してはどうか。

# 医師少数スポットの設定について（3）

第1回 三重県地域医療対策協議会（令和元年9月11日）  
「三重県医師確保計画」の策定について（抜粋・一部改変）

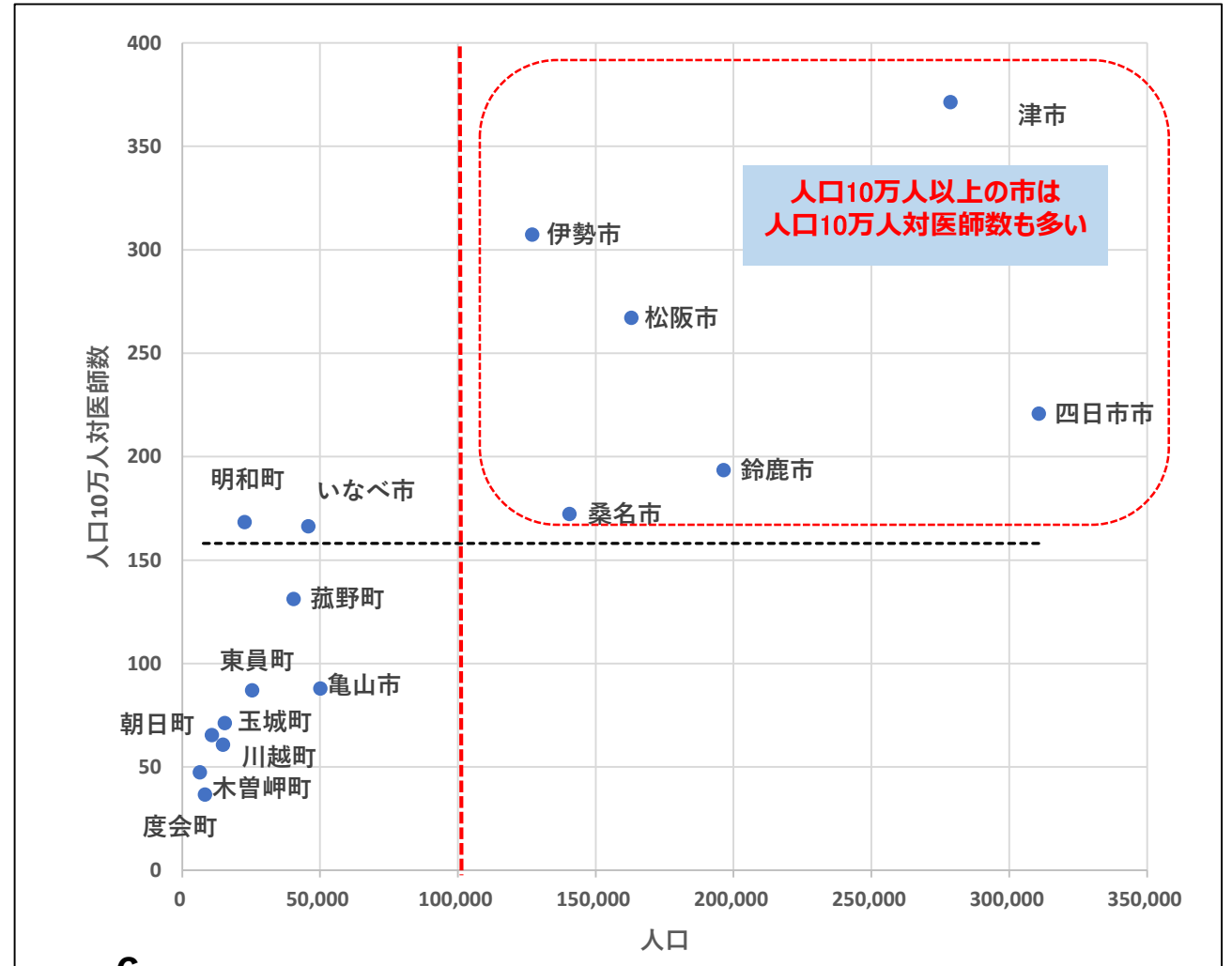
## ② 地域枠B推薦地域以外の地域

●医師偏在指標に基づき医師少数区域として設定する  
東紀州医療圏の人口10万人対医師数158.0を一つの基準  
として設定すると、人口10万人未満の多くの市町については、本基準を下回ることが予想されるため、当該地域の医師不足状況を鑑みて医師少数スポットに設定することを検討する。

●なお、医師少数スポットについては、地域枠を中心とした医師修学資金貸与者の派遣先となることから、若手医師のキャリア形成に配慮する必要があるため、以下の病院がある地域を対象としたい。

- ・医師修学資金の返還免除対象施設である救急告示病院が所在する地域
- ・三重県地域医療支援センターが策定するキャリア形成プログラムの対象病院が所在する地域

市町の人口と人口10万人対医師数（東紀州医療圏の市町を除く）





# 医師少数スポットの設定について（3）

## ② 地域枠B推薦地域以外の地域

地域枠B推薦地域以外の人口10万人未満の地域について、次の項目の有無を調査した。

- ・ 10万人対医師数（東紀州と同等以下であること）
- ・ 専門研修プログラム研修施設かつ医師修学資金返還免除施設である施設が市町内にあること

上記項目に該当する市町

**（いなべ市）、東員町、菰野町、亀山市**

備考

※いなべ市について

医師不足調査において、いなべ総合病院は、これまで内科の常勤医師数が9名～11名であったところが、現状で3名まで減少し、さらに来年度1名退職により2名となる見込みであることが報告された。

このことから人口10万人対医師数が158人の水準を下回ることが予想される。

本年12月中旬に公表予定の平成30年度医師・歯科医師・薬剤師調査の結果を確認する必要がある。

専門研修施設かつ医師修学資金返還免除施設であること

構想区域	市町	人口10万人対医師数		専門研修施設	医師修学資金返還免除施設		医療施設名
			158以下		救急告示	精神科救急	
桑員	いなべ市	166.3	※	○	○		いなべ総合病院
				○	○		日下病院
						○	北勢病院
	木曽岬町	47.3	○				-
三四	東員町	87.0	○	○		○	大仲さつき病院
	菰野町	131.2	○	○	○		菰野厚生病院
	朝日町	65.4	○				-
鈴亀	川越町	60.8	○				-
	亀山市	87.9	○	○	○		亀山市立医療センター
松阪	明和町	168.3		○			済生会明和病院
					○		三重ハートセンター
伊勢志摩	玉城町	71.2	○				-
	度会町	36.6	○				-

- ・ 平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査、三重県調べ
- ・ 地域枠B推薦地域を除く

## 論 点 3

- ・ 人口10万人以上の6市は県内の中核的病院があることから、医師少数スポットの対象外でよいか。
- ・ 地域枠B推薦地域以外の人口10万人未満の市町の医師少数スポットの考えをどのようにすべきか。